

高校1年 学年通信 No.9

2018年11月12日

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

二学期は大きな行事が立て続けに予定されていました。先日の文化祭をもって、大きな行事は終わったわけですが、生徒のみなさんは何を感じ何を得ることができたでしょうか。

今学期のスタート時に、二学期の目標として

「行事を通じてクラスの団結力を高める」
「クラスメイトとより仲良くなる」

の2点を挙げていました。

行事では共同作業をする場面がたくさん出てきます。そのなかで、普段は見せない意外な一面を見せる生徒がいます。我々としてはその意外な一面を見たときに、それぞれの成長を感じ非常にうれしく思います。今学期の行事でも、そのような場面がたくさん見られました。その一部をご報告させていただきます。

校外学習

ユニバーサルスタジオジャパンへ行ってきました。目的は2つありました。

1. 日常を離れリフレッシュしてもらうこと。
2. 自らの将来に向けた学びを得ること。

2. の自らの将来に向けた学びとは、**“働く”**という観点からの視点です。そのために、USJ職員の方に特別に時間を取っていただき、講話をいただきました。その講話の内容は、

「私にとって**“働く”**とは、生活のためだけではありません。

【世の中のために働く＝人を楽しませることをしたいから働く】のです。みなさんもそのような仕事を見つけるために、いろいろな所に注目してこのあとパーク内を楽しんでください。」

というものでした。「楽しんでもらいたい」・「人を楽しませることがしたい」という気持ちが今のUSJにつながっていることを知り、生徒たちはパーク内でのクルーの方に注目をして1日を過ごしました。



文化祭

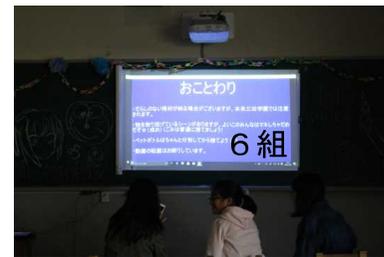
11月2・3日の日程で文化祭が行われました。文化部やダンス部にとっては普段の活動を、校内外にアピールする絶好のチャンスです。普段なかなか見ることのできない同級生の頑張りにそれぞれ刺激をもらっていました。また各クラスにおいては、それぞれが趣向を凝らした教室イベントを実施しました。高校生としての文化祭は初めてのため準備当初はどのようなかと不安もありましたが、始まってみると想像を上回る頑張りとお出来栄えでうれしい誤算となりました。

文化祭(一般)を迎えるにあたっては、

校外学習で学んだ

「人を楽しませる」視点を持って行動しよう！

ということを共有しました。まさにその通りの行動を実践してくれたと思います。



キャリア甲子園 (総合学習)

10月29日(月)7限に、キャリア甲子園中間発表を行いました。企業からの課題に対して、しっかりとした調査を行った上でよいアイデアを披露してくれました。発表を聞いた他の生徒からの質疑応答を踏まえて、さらに精査された内容の発表を11月14日(水)の授業参観でお見せいたします。ご期待ください。

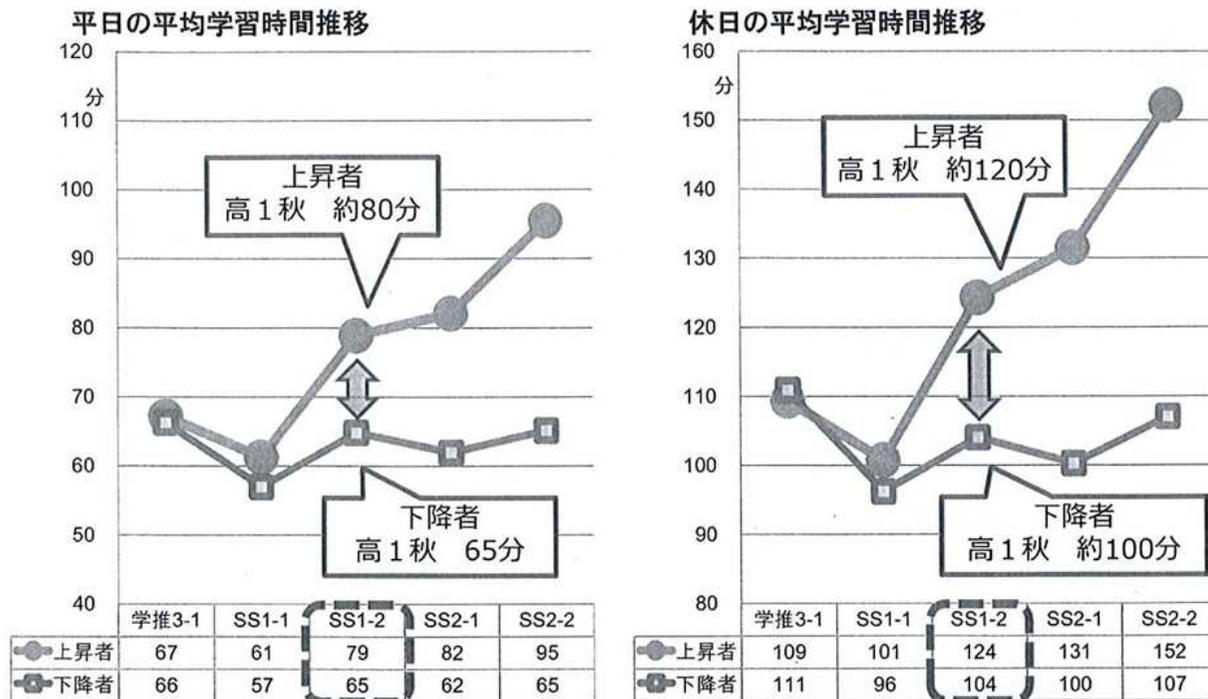


裏面に続く

高1のうちに身につけたいこと

高校1年生のうちに必ず身につけなければならないのは、「**毎日の学習習慣の定着**」です。

高校生になってから「伸び始める」生徒は高1春→秋に学習量を増やす



高1秋以降、学習時間に大きな差がつく

ベネッセの研究会に参加すると上記のようなデータが示されました。一般的な中高一貫校の特徴として、高校からの入学生に比べていわゆる中だるみの期間が長いという特徴があります。もちろん、大学入試が身近なものになってくる高校2年生になるとどの生徒も学習時間はおのずと増えてくるのですが、目標達成に向けて動き出すタイミングに、早すぎることはありません。ただし、単に学習時間が増えればよいのではなく、**モチベーションが上がった結果として学習時間が増える**ことが重要です。生徒たちにもこのデータを示しています。

大きな行事が終わった今だからこそ自分自身の目標を再確認し、日々の取り組みを充実させてもらいたいと思います。文化祭で見たあのパワーがあれば、きっとできるはず。そう信じております。